

2020年度 事業報告

1. 概況

2020年度は、理事、監事、学術委員ならびに選考委員の任期満了に伴う改選があった。

今年度の助成事業として、研究助成金は1件200万円を50名へ、総額1億円を交付した。海外留学補助金は1件最大400万円（200～400万円）、総額2,800万円を11名へ交付することを決定した。さらに、COVID-19感染拡大を受け、経済的支援が必要と判断された海外留学生者8名へ1件10～100万円、総額280万円の支援を実施したほか、COVID-19研究助成枠を設定し、1件100万円を5名へ、総額500万円を交付した。以上より、今年度の助成総額は1億3,580万円となった。

今年度の研究報告会は、COVID-19の感染拡大のため中止とした。これに伴い、最優秀理事長賞（表彰状および副賞100万円/1件）2件と竹中奨励賞（表彰状および副賞50万円）1件の授与は、次回の研究報告会へ持ち越しとなった。

また、報酬ならびに費用に関する規程の改訂、並びに資産運用基本方針及び資産運用ガイドラインを制定した。

本財団ホームページをリニューアルし、8月に公開した。

2. 運営について

1) 第1回定例理事会 2020年6月6日開催

第1号議案：2019年度事業報告、収支報告の件 ⇒ 評議員会への上程を承認

第2号議案：任期満了に伴う次期理事・監事候補者推薦の件
⇒ 評議員会への上程を承認

第3号議案：任期満了に伴う次期学術委員選出の件
⇒ 石川俊平、稲葉俊哉、井上将行、今井由美子、上杉志成、上田啓次、上田泰己、浦野泰照、大嶋孝志、大高章、岡田随象、小川佳宏、尾崎紀夫、桑昭苑、倉永英里奈、後藤由季子（理事兼任）、塩見美喜子、高柳広、竹居孝二、中澤徹、西川博嘉、藤山文乃、舛森直哉、南雅文、柳田素子、山本一夫、ならびに若槻壮市の各氏、計27名を学術委員として承認

第4号議案：任期満了に伴う次期選考委員選任の件
⇒ 選考委員候補者38名全員を承認（理事は定時評議員会の承認が前提）

第5号議案：資産運用委員選出の件
⇒ 植松則行、寒川龍児、知原修、ならびに益子統の各氏、計4名を資産運用委員として承認、また知原修を資産運用委員長とすることを了承

第6号議案：規程類改訂の件 ⇒ 承認

第7号議案：2020年度定時評議員会招集の件 ⇒ 承認

第8号議案：理事長・専務理事業務執行報告の件 ⇒ 承認

第9号議案：2020年度研究助成金/海外留学補助金申請状況に関する報告の件 ⇒ 了承

第10号議案：財団ホームページリニューアルの件 ⇒ 了承

第11号議案：その他

⇒ COVID-19 感染拡大により経済的支援が必要と判断された海外留学生へ
金銭的支援を実施することを承認

2) **定時評議員会 2020年6月29日開催**

第1号議案：2019年度事業報告、収支報告の件 ⇒ 承認

第2号議案：任期満了に伴う次期理事・監事候補者推薦の件

⇒ 重任理事12名：一條秀憲、岩井晃彦、大谷直子、笠井清登、
熊ノ郷淳、後藤由季子、佐々木雄彦、徳山英利、中里雅光、中山俊憲、
山下（奥）敦子、山下俊英の各氏

新任理事2名：迫和博、山内敏正の各氏

計理事14名を承認

⇒ 新任監事2名：植松則行、吉光透の各氏

計監事2名を承認

第3号議案：規程類改訂の件 ⇒ 承認

第4号議案：2020年度第1回定例理事会報告の件 ⇒ 了承

第5号議案：資産運用の件 ⇒ 了承

第6号議案：2020年度研究助成金／海外留学補助金申請状況に関する報告の件
⇒ 了承

第7号議案：今後の財団活動の方向性について ⇒ 意見交換

3) **第1回臨時理事会（書面） 2020年6月29日開催**

第1号議案：代表理事（理事長）、業務執行理事（専務理事）選定の件

⇒ 熊ノ郷淳氏を代表理事（理事長）に選定（重任）

⇒ 岩井晃彦氏を業務執行理事（専務理事）に選定（重任）

4) **臨時学術委員会（書面） 2020年6月29日開催**

第1号議案：学術委員会長選定の件

⇒ 後藤由季子氏を学術委員会長に選定（重任）

5) **臨時選考委員会（書面） 2020年6月29日開催**

第1号議案：選考委員長選定の件

⇒ 徳山英利氏を選考委員長に選定（重任）

6) **第2回臨時理事会（書面） 2020年7月27日開催**

第1号議案：COVID-19 関連研究助成の件 ⇒ 承認

7) **第1回資産運用委員会 2020年9月17日開催**

第1号議案：資産運用の基本方針に関する事項 ⇒ 理事会への上程を承認

第2号議案：資産運用ポートフォリオに関する事項

⇒ 再度協議を実施することとした

第3号議案：運用受託機関等の選定・評価に関する事項

⇒ 再度協議を実施することとした

8) **第2回資産運用委員会 2020年10月6日開催**

第1号議案：資産運用ポートフォリオに関する事項

⇒ 基本財産のポートフォリオを理事会へ上程することを承認

9) **第3回資産運用委員会 2020年10月13日開催**

第1号議案：運用受託機関等の選定・評価に関する事項

⇒ 運用受託機関と購入運用商品について理事会へ上程することを承認

10) **選考委員会 2020年10月17日開催**

第1号議案：2020年度研究助成金交付対象候補者・交付総額の件

⇒ 2020年度研究助成金交付対象候補者50名、交付総額1億円について理事会への上程を承認

第2号議案：2020年度COVID-19研究助成金交付対象候補者・交付金額の件

⇒ 2020年度COVID-19研究助成金内定候補者5名について理事会への上程を承認

第3号議案：2020年度海外留学補助金内定候補者・補欠候補者の件

⇒ 2020年度海外留学補助金内定候補者11名、補欠候補者45名について理事会への上程を承認

11) **第2回定例理事会 2020年10月17日開催**

第1号議案：2020年度研究助成金交付対象者・交付総額の件

⇒ 選考委員会の提案を承認

第2号議案：2020年度COVID-19研究助成金交付対象候補者・交付金額の件

⇒ 選考委員会の提案を承認

第3号議案：2020年度海外留学補助金内定候補者・補欠候補者の件

⇒ 選考委員会の提案を承認

第4号議案：資産運用基本方針及び資産運用ガイドラインの件

⇒ 資産運用委員会の提案を承認

第5号議案：資産運用受託機関等の選定の件

⇒ 資産運用委員会の提案を承認

12) **第1回学術委員会 2021年2月6日開催**

第1号議案：2021年度研究助成事業の実施要領の件

⇒ 理事会への上程を承認

第2号議案：2021年度海外留学助成事業の実施要領の件

⇒ 理事会への上程を承認

第3号議案：業務支援システム導入の件 ⇒ 了承

13) **第3回定例理事会 2021年2月6日開催**

第1号議案：2020年度事業報告、仮収支報告の件 ⇒ 承認

第2号議案：2021年度事業計画、収支予算書の件 ⇒ 承認

第3号議案：2021年度研究助成事業の実施要領の件

⇒ 学術委員会からの提案を承認

第4号議案：2021年度海外留学助成事業の実施要領の件

⇒ 学術委員会からの提案を承認

第5号議案：理事長、専務理事の業務執行報告の件 ⇒ 承認

第6号議案：2021年度研究報告会開催の件

⇒原案通り承認

第7号議案：資産運用状況について ⇒ 了承

14) **第3回臨時理事会（書面） 2021年3月12日開催**

第1号議案：辞任に伴う後任理事候補者推薦の件

⇒岩井晃彦氏の辞任に伴い、志鷹義嗣氏を後任理事候補者として評議員会へ推薦することを承認

第2号議案：後任理事選任を議案とする臨時評議員会招集の件 ⇒ 承認

3. **事業について**

1) **助成事業**

2020年度は、研究助成金へ841件、海外留学補助金へ176件の多数のご応募を頂いた。詳細は表1に記載（p. 5）。

2020年10月17日開催の選考委員会および第2回定例理事会の決定に基づき、研究助成金交付対象者50名（内、女性11名）に対し1件200万円、計1億円を交付した。詳細は表2に記載（p. 5～p. 6）。さらに、COVID-19感染拡大の状況から、COVID-19研究助成枠を設定し、1件100万円を5名へ、総額500万円を交付した。詳細は表3に記載（p. 7）。

海外留学補助金については、本財団の助成を受けることを誓約した内定候補者11名に対して経済状況確認の面談を行い、その結果を踏まえて11名全員の合格と補助金額を決定した。女性比率は36.4%であった。合格者へは、1件200万円～400万円、総額2,800万円の交付を決定した。内9名には既に交付済みである。詳細は表4に記載（p. 7）。

また、COVID-19感染拡大の影響から経済的支援が必要と判断された海外留学者8名へ1件10～100万円、総額280万円の支援を実施した。詳細は表5に記載（p. 7）。

2) **研究報告会**

2019年度 研究助成金受領者50名による研究報告会を、2020年10月17日（土）に開催予定であったが、COVID-19感染拡大の状況を鑑み、本年度の研究報告会は中止した。これに伴い、最優秀理事長賞（表彰状および副賞100万円／1件）2件と竹中奨励賞（表彰状および副賞50万円）1件の授与は、次回の研究報告会へ持ち越しとなった。

3) **2017及び2018年度 助成研究報告集**

2017及び2018年度 研究助成金交付対象者からの研究報告をまとめた助成研究報告集を2021年5月に公開する予定。

4) **財団ホームページリニューアル**

本財団ホームページを全面的にリニューアルし、8月に公開した。さらに、新たな電子申請システム及び選考システムを導入し、2021年度の助成事業より活用する。

表 1. 2020 年度研究助成金等の申請者数および交付対象者数

項目	申請者数(女性数)	交付対象者数(女性数)	交付金額(万円)
研究助成金	841 名(180 名)	50 名(11 名)	10,000(200/件)
COVID-19 研究助成金		5 名(0 名)	500(100/件)
海外留学補助金	176 名(34 名)	11 名(4 名)	2,800(200-400/件)
COVID-19 海外留学者支援	34 名(10 名)*	8 名(1 名)	280(10-1000/件)
総計	1050 名(224 名)	74 名(16 名)	13,580

* COVID-19 海外留学者支援対象候補者数

表 2. 2020 年度研究助成金交付対象者一覧

(五十音順・敬称略*所属は2020年度12月1日現在)		
氏名	所属*	研究テーマ
有馬 勇一郎	熊本大学 生命科学部	アセチル化を介した収縮保持性心不全形成機構の解明
安西 淳	慶應義塾大学 医学部	心筋梗塞後の炎症・修復を制御する新規機序の解明
石黒 啓一郎	熊本大学 発生医学研究所	生殖細胞における減数分裂の制御機構と不妊原因の解明
稲城 玲子	東京大学 大学院医学系研究科	一次繊毛を基軸とした小器官相互作用の病因論解明
井上 貴美子	理化学研究所 バイオリソース研究センター	アレル特異的なエピゲノム操作方法の開発
魏 范研	東北大学 加齢医学研究所	RNA修飾に基づく生命原理の解明と個体老化への応用
上阪 直史	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科	脳腫瘍進展における神経伝達物質の役割の解析
遠藤 裕介	かずさDNA研究所	肥満-乾癬の免疫代謝を標的とした制御法の基盤構築
遠西 大輔	岡山大学 大学病院	ハイブリッド遺伝子を標的とする新規癌免疫治療の開発
大石 真也	京都薬科大学 薬学部	鏡像抗体様分子の創製基盤の確立と医薬応用
大川 宜昭	獨協医科大学 先端医科学統合研究施設	記憶障害の脳内機構の解明と回路修復の可能性
大澤 志津江	名古屋大学 大学院理学研究科	競合が制御するがん微小環境とその分子基盤の解明
籠谷 勇紀	愛知県がんセンター研究所	疲弊T細胞の形成初期段階に関わる分子機構の解明
加藤 英明	東京大学 大学院総合文化研究科	IRIからの細胞保護法開発に資するGPCR構造解析
Canela Andres	京都大学 大学院生命科学部	トポイソメラーゼ2阻害剤による白血病発症機構の解析
北田 研人	香川大学 医学部	体液量制御に伴う夏眠反応の誘導メカニズムの解明
楠山 譲二	東北大学 学際科学フロンティア研究所	子の肥満を防ぐ妊娠期運動-胎盤シグナルの解明
栗原 美寿々	北海道大学 大学院薬学研究院	胚性致死を引き起こす非コードRNAの作用機構
坂本 啓	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科	即効性液性免疫と細菌叢を連携した新規感染症治療法
指田 吾郎	熊本大学 国際先端医学研究機構	数的染色体異常による造血不全・白血病発症機構の解析
佐田 亜衣子	熊本大学 国際先端医学研究機構	加齢皮膚の幹細胞で見られる特徴的糖鎖の機能解析
柴田 彩	東京大学 大学院医学系研究科	アトピー性皮膚炎病態形成におけるエピジェネティクス
武石 一樹	九州大学 別府病院	移植可能iPS由来人工肝臓作成の臨床応用への展開

表 2. 2020 年度研究助成金交付対象者一覧

		(五十音順・敬称略*所属は2020年度12月1日現在)
氏名	所属*	研究テーマ
竹本 研	三重大学 大学院医学系研究科	神経可塑性の局所誘導を可能にする光技術の開発と応用
多田 隼人	金沢大学 附属病院	遺伝子リスクスコアによる心血管疾患個別化医療実践
田中 克典	東京工業大学 物質理工学院	マウス内での芳香環合成によるがん治療研究
千原 崇裕	広島大学 大学院統合生命科学研究科	ALS関連小胞体分子VAPのトポロジー変換機構解明
塚崎 雅之	東京大学 大学院医学系研究科	骨組織の発生と維持の分子機構解明
中西 祐貴	京都大学 大学院医学研究科	癌幹細胞を標的とした新規大腸癌免疫療法の開発
西谷 友重	和歌山県立医科大学 医学部	NCS-1は神経障害性疼痛の新規治療標的となるか
林 幹人	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科	骨細胞による生体維持機能の解明
林 悠	京都大学 大学院医学研究科	脳脈管系イメージングによる睡眠の作用の解明
平林 祐介	東京大学 大学院工学系研究科	オルガネラ間接触がニューロン制御に果たす役割の検討
平山 友里	千葉大学 大学院医学研究院	脳虚血障害における乳酸輸送担体MCT1の役割の解明
深田 宗一郎	大阪大学 大学院薬学研究科	人工的筋幹細胞増幅技術を目指した基盤研究
二口 亜希子	東北大学 加齢医学研究所	RNA由来新規内分泌因子の探索による緑内障病態解明
星居 孝之	千葉大学 大学院医学研究院	エピゲノム制御を介したミトコンドリア制御機構の解明
保仙 直毅	大阪大学 大学院医学系研究科	多発性骨髄腫に対するCAR-NK細胞療法の開発
細岡 哲也	神戸大学 大学院医学研究科	NASHの病態に関わる新規アディポカインの同定
松本 知訓	大阪大学 微生物病研究所	倍数性変動と細胞老化を起点とした肝発癌機構の解明
宮本 潤基	東京農工大学 大学院農学研究院	腸内環境変化と宿主エネルギー代謝制御
三好 知一郎	京都大学 大学院生命科学研究科	転移因子LINE-1を制御する宿主因子の解明
室 龍之介	東京大学 大学院医学系研究科	中枢性免疫寛容の成立に必須の遺伝子の探索
茂木 文夫	北海道大学 遺伝子病制御研究所	PAR-1/4が誘導する細胞-組織極性の制御機構
薬師寺 那由他	理化学研究所 生命科学研究センター	細胞系譜追跡によるNKT特異的エンハンサーの探索
山下 真幸	東京大学 医科学研究所	造血幹細胞による非自己抗原提示と免疫回避
山本 玲	京都大学 高等研究院	造血幹細胞の加齢と血液疾患のモデル作成と機序解明
横井 佐織	北海道大学 大学院薬学研究院	自閉症様行動を制御するlncRNAの探索と解析
和氣 弘明	名古屋大学 大学院医学研究科	感覚遮断から考察する精神疾患の発症機序
渡部 喬光	東京大学 ニューロインテリジェンス国際研究機構	自閉症のこだわりを生み出す神経ダイナミクスの研究

表 3. 2020 年度 COVID-19 研究助成金交付対象者一覧

(五十音順・敬称略*所属は2020年度12月1日現在)		
氏名	所属*	研究テーマ
植木 紘史	東京大学 医科学研究所	新型コロナウイルスの2光子生体肺イメージング解析
今野 翔	東京薬科大学 薬学部	コロナウイルスプロテアーゼに対する分解誘導剤の開発
高山 和雄	京都大学 iPS細胞研究所	ヒト肺モデルの作製とCOVID-19研究への応用
辻 耕平	東京医科歯科大学 生体材料工学研究所	SARS-CoV-2膜融合阻害剤の開発研究
廣明 秀一	名古屋大学 大学院創薬科学研究科	新型コロナウイルスE Proteinの相互作用解明

表 4. 2020 年度海外留学補助金交付対象者・交付予定額一覧 (50 音順・敬称略)

氏名	所属機関 (申請時) (注)	留学先	交付額 (万円)
井出 佳奈	千葉大学大学院 医学研究院	デューク大学	400
大野 祥平	大阪大学 大学院薬学研究科	イエール大学	200
織田 麻衣	長浜バイオ大学	イエール大学	200
小西 健一郎	東京大学大学院 医学系研究科	シンシナティ小児病院	400
斉藤 大志	大阪産業技術研究所	ヨハネス・グーテンベルク大学	200
坂上 沙央里	大阪大学 大学院医学系研究科	ハーバード大学	200
中條 暖奈	理化学研究所 脳神経科学研究センター	カリフォルニア大学	200
半田 哲也	東京工業大学 科学技術創成研究院	ケンブリッジ大学	200
藤本 隆史	長崎大学大学院 医歯薬総合研究科	ワシントン大学	200
藪本 大紀	堺市立総合医療センター	エモリー大学	400
山道 拓	大阪母子医療センター	バイラー医科大学	200

注) 申請時、既に留学を開始されていた方については、留学直前の所属機関を記載。

表 5. 2020 年度 COVID-19 海外留学者支援交付対象者・交付額一覧 (50 音順・敬称略)

氏名	留学先	交付額 (万円)
笠原 和之	ウィスコンシン大学	10
宍倉 匡祐	ペンシルベニア大学	100
白石 一茂	ペンシルベニア大学	28
高橋 洋平	カリフォルニア大学	20
高屋 潤一郎	スクリプス研究所	10
丸目 恭平	インスブルック大学	50
山下 尚志	ボストン大学	20
山村 裕理子	グラスゴー大学	42

付属明細書

補足すべき重要な事項はありません。すべて事業報告に記載済みです。

以上